

<はじめに>

知多半島ロゲイニングとは、知多半島を舞台に開催されるロゲイニング大会のことを指す。参加者は、配られた地図をもとに、指定された時間内にチェックポイントを回り、スマートフォンアプリ、またはデジタルカメラで写真撮影を行い、集めた得点を競う。本競技規則は、知多半島ロゲイニングを公平かつ安全なスポーツとするために定める。

第一章	運営形式
第二章	開催地への配慮
第三章	安全対策
第四章	チーム人数とクラス
第五章	競技説明、及び作戦タイム
第六章	参加者の移動手段
第七章	チェックポイント
第八章	地図
第九章	アプリ
第十章	得点集計と表彰
第十一章	罰則と抗議

第一章 運営形式

1. 主催は大会実行委員会形式とし、事務局を設置する。
協力団体として、できる限り地元行政、観光協会、商工会等の団体と連携をとって行う。
2. ロゲイニング大会運営経験を積んだコースプランナーを1名設置する。
3. 競技の判定を行う技術スタッフ（審判員）を2名以上設置する。
知多半島ロゲイニング技術スタッフ講習会受講者とし、資格保持者とする。

第二章 開催地への配慮

1. 知多半島ロゲイニングは、公共の場（公園・道路等）を使用して競技を行うため、参加者は開催地に感謝の気持ちを忘れずに、法律を遵守して、公共及び私有財産、一般の方の安全を尊重する義務を負う。
2. 以下を最優先すること
 - 1) 道路交通法を遵守する。
 - 2) 私有地、農地（畑・田んぼ等）、立ち入り禁止区域を通行してはいけない。
 - 3) ゴミのポイ捨てはしない。
 - 4) 自然破壊を行わない。
 - 5) 神社仏閣の境内では走らない。境内に入る際は一礼する。

第三章 緊急時の対応

1. 緊急を要する事態が発生した場合は、まずは安全確保に努め、周りの人に助けを求めること。
2. けが人がいる場合は、チーム員同士で協力して救助、応急手当に努めること。
3. 緊急車両の要請が必要な場合は、各自の判断で救助を要請すること。

4. その際は、必ず大会本部にも連絡を入れること。
5. 事故やトラブルが発生した場合、時間、場所、相手先を記録に残しておくこと。

第四章 チーム人数とクラス

1. ソロは1名、チームは2～6名で構成される。
2. 3時間の部と5時間の部を設ける。
3. クラスは性別によって3クラス、年齢によって2クラスに分けられる。
 - 1)「男子」
 - 2)「女子」
 - 3)「混合」
 - 4)「ファミリーA」(小学3年以下を1名以上含む)
 - 5)「ファミリーB」(中学生以下を1名以上含む)
4. 大会によっては、上記以外の部門、クラス分けを設ける場合もある。

第五章 競技説明、及び作戦タイム

1. 選手は競技説明会に必ず出席すること。
2. 競技説明会ではロゲイニングの競技ルール、ローカルルール等についてコースプランナーより説明を行う。疑問点等があればその場で確認することができる。
4. 直前の変更、その他重要な情報は、すべての関係者に提示されること。書面および口頭で告知することが望ましい。
3. 競技説明会終了後、15分の作戦タイムが与えられる。

第六章 参加者の移動手段

1. 参加者の移動手段は「徒歩」「ランニング」を基本とする。
2. ほかに手段を主催者が許可をする場合は、「特別ルール」としてプログラムに明記する。
3. 競技中は、チームメンバーはお互いに10m以上離れずまとまって移動する。

第七章 チェックポイント

1. 参加者はチームに最低1台用意したスマートフォン、もしくはデジタルカメラで、チェックポイントの通過証明となる撮影を行う。その際に1台の機器によって撮影されたものが得点と認められる(複数台の合算は不可)。
2. チェックポイント一覧の見本写真と、著しく異なる場合は、得点とならない。
3. 撮影者以外のチームメンバーを撮影に含める。
4. スマートフォン、もしくはデジタルカメラが何らかの理由により使用不能になった場合、予備のものがあれば続行することができる。状況を考慮して主催者は得点を有効とするか判断する。
5. チェックポイントの識別番号は点数を表し、同じ番号は2つ以上使われていない。
6. チェックポイント同士の間隔は少なくとも50m以上離されている。
7. チェックポイントの位置、配点は大会当日の地図配布まで公開せず、スタート前にチェックポイントの撮影を行ってはならない。

第八章 地図とチェックポイント一覧

1. 主催者は参加者一人ずつに地図とチェックポイント一覧を配布すること。
2. 地図は以下の項目を満たす。

- 1) 縮尺は 1:25000 から 1:50000 の範囲内
- 2) 等高線間隔は 20m を超えないようにする。
- 3) 自然光、人工光の下で明快地読むことができる。
- 4) 磁北線、磁北 (方角)、スタート (△)、フィニッシュ (◎)、チェックポイント (○) の場所と得点 (数字)、給水所、トイレ、既知の立入禁止エリアが印刷されている。

2. チェックポイント一覧は以下の項目を満たす。

- 1) チェックポイント名、得点、写真、解説からなる。
- 2) 得点の小さい順に配置する。
- 3) 写真の視認性を損なわない彩度、明度、大きさである。
- 4) 地図のみで表しきれない情報を記載する。
- 5) 緊急時の連絡先を記載する。

第九章 アプリ「愛ちた！ナビ」

1. 選手は事前にアプリをダウンロードしておき、当日受付時に配布されるログイン用QRコードでチェックインを行う。
2. 知多半島ロゲイニング専用スマートフォンアプリ「愛ちた！ナビ」の使用を推奨する。
3. アプリ使用者と未使用者のどちらも競技に著しい不利益が生じないように配慮する。
4. 競技中はアプリのマップ機能、ナビゲーション機能の使用は禁止とする。

第十章 得点集計と表彰

1. 選手が帰還後、以下の通り得点集計・確認を行う。
アプリ使用者
 - 1) アプリ上に表示されている点数とWEB上の得点が一致しているか確認。
 - 2) 一致していれば、「OK」ボタンを押して得点を確定。
 - 3) 得点に相違がある場合、異議がある場合は、技術スタッフに申告を行い、認められれば修正することができる。アプリ未使用者
 - 1) WEBにて得点集計画面を開き、自分たちの獲得した得点を入力。
 - 2) 技術スタッフに写真チェックを受けて得点が確定。
 - 3) 相違があれば、WEB上で修正を行う。
2. 大会結果は、すべての参加者にできるだけ速やかに公表・配布すべきである。
3. 大会結果には、チーム名、得点、回った順番が記載され、全体の順位と得点のクラス内順位を含む。失格チームも記載する。
4. 表彰は競技終了後1時間以内を目安として行う。無断欠席の場合は、副賞の送付は行わない。

第十一章 罰則と抗議

1. 選手は得点集計に異議がある場合は、抗議をすることができる。ただし、速報リザルト掲示後30分以内とする。
2. 選手が競技ルールを破った場合、技術スタッフが注意を行い、改善されない場合は失格とする。
3. 大会側の決定に不服がある場合は、異議申し立てを行うことができる。ただし、競技終了後24時間以内とする。